

八代市観光振興計画
(概要版)



観光の活性化がなぜ必要なのでしょう。それは、観光産業とは単に旅行サービス業や宿泊業、小売業などの観光に携わる業種に直接的に経済効果を生むだけでなく、農林水産業をはじめとする地域の様々な業種に波及し、地域の活性化につながるからです。

八代市には、多様性あふれる自然、歴史や伝統文化、そしてそこに暮らす人、いろいろな地域資源があります。これから八代市が観光で元気なまちになるためには、多くのお客様に八代の魅力を知ってもらい、体験や交流を通じて感動し、八代を好きになって何度も来てもらう、そういう取り組みが必要です。

そのためには、住民自身が八代の魅力を再認識し、誇りを持ってその魅力を伝えたい、また、一人一人が心からのおもてなしを提供することで感動が生まれる観光と交流によるまちづくりをすすめることが大切です。

本計画は、このような観光振興の目指すべき方向性や方針を定めたものです。行政や観光関係者だけでなく、一般事業者やその他の団体、地域住民まですべての人たちの参画が不可欠です。それぞれの役割、得意分野を活かし、協働の観光と交流によるまちづくりを推進していきます。

八代市のビジョン

住民自身が地域の価値を知り、地域に誇りを持ち、地域内外に伝えたい、そのような観光まちづくりを目指します。

八代のそれぞれの魅力が光り つながることによって 質の高い^{と き}時間を提供するまち

山・里・街・海など各地域のそれぞれの魅力が光り、地域の人たちが発信することによって、

『点』として存在した魅力がつながり、『面』として八代全体の魅力=光となります。

それらを、来訪者(お客様)の深層のニーズと共鳴させることによって、より深くより多様性に溢れた、良質な時間消費を提供することができるまちになります。

ビジョンを具現化するための4つの指針

資源
をつなぐ

文化
をつなぐ

思い
をつなぐ

食
をつなぐ

戦略の思想とも言うべき『コンセプト』から発想が広がり、地域の人たちが様々な解釈をして、行動へと結びつく、観光振興によるまちづくりの原動力となってきます。また、八代市の旅のイメージを知るコミュニケーションの基礎となります。

きなっせ やつしろ

小さな**感動** 心に残る**おもてなし**

八代市は個性的で多様な地域です。それは小さくてもキラリと光る魅力です。八代市では住民一人一人が心からのおもてなしを提供することで感動と交流が生まれ、上質で充実した時間を過ごすことができます。

二つの基本戦略

観光振興を戦略的に実施するには、一般観光客といわれるビジターを誘客する戦略と、リピーターやファンとなるべき層を創造する戦略の二つがあります。

基本施策

来訪者（お客様）の消費行動に合わせた基本戦略に沿って、本振興計画における基本施策を実施します。

お客様に 来てもらう ための戦略

情報発信におけるターゲットの明確化とターゲットに呼応した地域資源の整理。有効かつ効果的なプロモーション展開、インターネットによる情報発信力の強化。

リピーター・ ファンに なってもらう ための戦略

八代の各地域で深い交流が生れることによって、感動や共感といった顧客満足を促し、リピーターや口コミを醸成させ、ゆっくりとファンになってもらうための戦略。

八代で体験・交流してもらう

地域がつながり魅力ある八代を創造することによって、来訪者（お客様）と価値の共有を促す交流の機会を整理・整備し、交流による観光振興を推進します。

八代を知ってもらう

八代の情報（魅力）を誰もが簡単にわかりやすく入手できるための誘客宣伝活動を推進します。

八代を好きになって何度も来てもらう

八代の魅力をさらに磨き、常に新鮮な交流が促される観光によるまちづくりを推進します。

八代に気軽に来てもらう

来訪者（お客様）が快適に地域を回遊し、八代の魅力を体感することの出来る環境整備を推進します。

来訪者(お客様)の消費行動に合わせた基本戦略に沿って、本振興計画における具体的施策を実施します。

八代で体験・交流してもらおう

① 八代版の体験・学習・交流のプログラムづくり

多様な資源を有機的に繋げ、魅力的なテーマに沿った、体験・学習・交流プログラムを策定します。

② 八代の魅力を伝える人と組織の育成支援

ガイド後継者の育成及びガイド団体の組織化を推進します。また来訪者(お客様)に対して、わかりやすい窓口づくりを更に強化する為に情報経路を一本化します。

③ 八代の魅力の再認識と発信

多種多様な地域資源をまとめ、魅力的なストーリーとして発信します。住民がうもれた地域の物語を再認識し、地域に誇りを持って魅力を伝え、ストーリー性のある旅を提案することで誘客の促進を図ります。

④ スポーツや健康、産業などを活かした新たな魅力づくりの推進

スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致、現代版の湯治を利用したヘルスツーリズム、近年注目を集めている産業観光など、本市におけるニューツーリズムについて推進します。

⑤ 外国人が観光しやすい環境づくり

九州の中心部に位置する交通アクセスの利点を活かし、ヘルスツーリズム、環境観光、八代港を活用したクルーズ船の誘致などを視野にいたし、東アジア地域を中心とした集客、さらに日奈久温泉や五家荘地域などの文化と自然を活用した欧米地域からの観光客受入を推進します。

⑥ 山・里・海・川の魅力を活かした体験観光の推進

農業・漁業・林業などの産業や川を使った生活体験を観光資源とするために、現在進めている、グリーンツーリズム及びブルーツーリズムの活動に加えて、リバーツーリズムの推進を図ります。

⑦ もっと長く滞在してもらおうきっかけづくり

国の重要無形民俗文化財の指定を受けた「八代妙見祭」について伝統文化としての側面、観光交流としての側面の両面から資源の磨き上げを行います。また本市において大きな集客力のある「全国花火競技大会」や「五家荘の新緑・紅葉」などの機会を捉え、滞在時間の延長につながるような新たな展開をすすめます。

八代を知ってもらおう

⑧ 『きなっせ やつしろ』キャンペーンの実施

観光関係者・交通機関・ガイド団体・地域住民・農商工関係者・その他民間企業や団体など、八代市全体で誘客キャンペーンを開催し、観光誘客のイメージを発信するとともに、関係者の横のつながりを醸成します。

⑨ 八代の魅力をわかりやすく伝える戦略づくり

本市の魅力を「どこの」「誰に」「どのような方法で」情報発信するか、また外部だけではなく内部(地域間)に対する情報共有のための戦略づくりをすすめます。

⑩ インターネットによる八代の魅力発信

各団体・各地域で独自に立ち上げているサイトについても将来的な統合を検討し、八代市の観光におけるポータルサイトを構築します。

八代を好きになって何度も来てもらう

⑪ 受入及び情報発信力の強化

観光振興においては、行政や観光関係者のみならず、一般事業者やその他の団体なども深くかわり、これらが一体となって取り組む統一的な推進体制・組織の構築が必要となるため、受入及び情報発信力の強化を行います。

⑫ 観光まちづくり組織の支援と活動推進

観光まちづくりの推進・実践にあたっては、観光まちづくりへの関心、課題、将来ビジョンなどを共有した、交流の場＝コミュニティが重要です。各まちづくり活動団体の自主的な活動が促される為のサポートや実践コミュニティづくりを推進します。また相互の活動のネットワーク化についても検討します。

⑬ 食や特産品を活かした八代の魅力づくり

「トマト」、「晚白柚」、「生姜」、「い草」など全国に誇れる特産品や地場産業等を活用し、その作り手の思いやメッセージがマーケットに伝わるように、統一したブランド化を推進します。また、マーケットに対して八代の「食」としてわかりやすく魅力を発信するための地域グルメを開発します。

⑭ 心に残るおもてなしの向上

観光関係者、交通関係従事者、地域住民が一体となって観光客を心からおもてなしできるよう、これまで行ってきたおもてなしの取り組みを再点検し、本当の満足・感動を与えられるようにおもてなし向上を行います。

⑮ 広域観光の推進

九州の中心という立地を活かして周辺自治体との連携も視野にいれた観光ルート開発や共同の誘客活動、情報発信の推進を図ります。

⑯ お客様の声を反映した観光まちづくりの推進

定期的に来訪者（お客様）への調査を行い、事業評価の参考とするとともに、抽出された意見は観光関係者や地域住民へ情報提供し、事業展開の検証・改善を促進するために情報の共有化を図ります。

八代に気軽に来てもらう

⑰ 交通アクセスの充実

九州新幹線全線開業により、JR新八代駅を起点とした、交通アクセスの充実を図り、来訪者（お客様）が快適に回遊できる環境整備を推進します。

⑱ お客様と住民が交流する場の充実

情報発信や特産品を販売する拠点を活用し、来訪者（お客様）と住民が交流する場の拡充を図ります。

⑲ 感動が生れる景観づくり

棚田や球磨川などの自然景観や木造建築、旧薩摩街道など街並み景観についても観光の視点から取り組みを進めます。

それぞれの地域の魅力を光らせる重点プロジェクトを設け施策の推進を図ります。
地域の光った魅力をつなげることで小さな感動が生れる八代地域の形成へ展開していきます。

まちの魅力が光るプロジェクト

人と人が集う場である「まち」。まちの魅力を活かし、来訪者（お客様）に、さらなる「まち」の魅力や回遊のための利便性を与えるような施策をすすめます。

本市の交通・産業・生活拠点でもある市中心部は、いにしえより交通の要所として栄え、現在も2011年3月に全線開業した九州新幹線をはじめ、肥薩おれんじ鉄道、九州縦貫自動車道、国の重要港湾である八代港など人とモノの交流拠点として優位性があります。また、松井家の城下町としての歴史や文化をはじめとした様々な魅力を有しています。

- スポーツや健康、産業などを活かした新たな魅力づくりの推進
- 八代の魅力の再認識と発信
- 千丁・鏡地域との連携 など

地の恵みが光るプロジェクト

大地からの恵みともいえる「湯」と「海」と「川」、
それら豊富な資源とそこから生まれる生活文化を活かした施策をすすめます。

八代海に面し、開湯600年の歴史を誇る、かつては湯治場として栄えた日奈久温泉は、古くから外との交流を行ってきた地域です。そこには、決して大きな観光施設などはありませんが、地域全体が歴史と温泉文化に溢れています。そこはまさに普段着感覚で都会の喧騒から開放され癒される地域空間です。

- 日奈久の魅力を伝える人と組織の育成支援
- 観光まちづくり組織の支援と活動推進
- 坂本地域との連携 など

山里の魅力が光るプロジェクト

九州山地の山の資源を活かし、
その歴史と自然、そこに暮らす生活文化を活かした施策をすすめます。

菅原家・平家の隠れ里として九州山地の奥深い山々に囲まれた五家荘地域には、奥深い山里で脈々と受け継がれてきた風土と生活文化、そして厳しい生活環境で暮らす人たちのホンモノの姿があります。決して便利で快適ではないけれどゆったりと流れる時間、そこでは純朴でまっすぐな人たちの営みに触れることができます。

- 交通アクセスの充実
- 外国人が観光しやすい環境づくり
- 東陽地域との連携 など



成果指標

施策の推進にあたっては、7カ年の推進スケジュールにより、成果指標の達成を目指します。

成果指標

平成21年の観光入込客数
2,206,341人



平成29年の観光入込客数
2,443,000人

推進体制

本計画の推進にあたっては、行政機関や観光事業推進組織、観光関係事業者はもとより、地域住民、一般事業者とその他団体など、地域を構成している全ての人たちの参画が不可欠です。それぞれがその得意分野を活かし協働による観光振興の推進が、持続可能な観光と交流によるまちづくりの基盤となっていきます。

【それぞれの役割】

(1) 地域住民の役割

地域を深く知り、地域に誇りを持ち来訪者（お客様）をもてなし、地域の魅力を発信するなど、観光と交流によるまちづくりに参画する中心的な役割を担います。

(2) 観光事業推進組織の役割

観光事業のまとめ役として、観光PRやプログラムの開発、地域資源の発掘や地域間連携のコーディネートなど、行政や地域住民、各種事業者や団体をつなげる役割を担います。

(3) 観光関係事業者の役割

来訪者（お客様）と最も近くで向き合い、観光振興の最前線に対応する役割であると考えます。本当の顧客満足を追及し、自分達のできることを考えたおもてなしを提供する役割を担います。

(4) 一般事業者とその他団体の役割

一般事業者とその他団体は、観光振興事業へ積極的にかかわりを持ち、自分達ができることを常に意識して、協働の観光と交流によるまちづくりの一翼を担います。

(5) 行政の役割

事業の推進にあたって、人的・財政的支援などの基盤整備を行うとともに、観光と交流によるまちづくりの牽引役として、参画する関係者を常に支えています。



小さな感動
心に残る
おもてなし



〒866-8601 熊本県八代市松江城町 1-25 八代市商工観光部 観光振興課
TEL : 0965-33-4115 FAX : 0965-32-8944
<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>